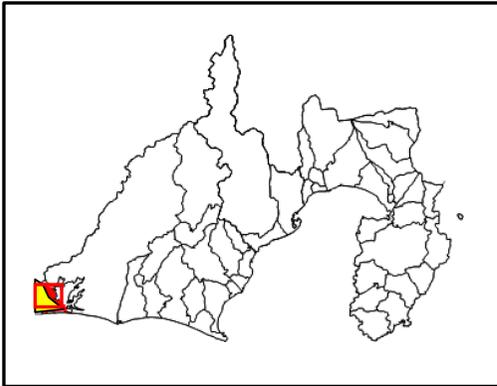


事業概要

ふりがな 応募者名	こさいし としせいびぶ としけいかくか 湖西市 都市整備部 都市計画課
ふりがな 事業の名称	しんじょはらえきしゅうへんせいびじぎょう 新所原駅周辺整備事業
ふりがな 事業主体	こさいし 湖西市
ふりがな 実施都市名	こさいし 湖西市
事業概要 (400字以内)	<p>新所原駅は、湖西市西部に位置するJR東海道本線と天竜浜名湖線の結節駅で、隣接する浜松市や愛知県豊橋市などへの通勤・通学等、生活交通の核となっている。しかしながら、橋上化前のJR新所原駅(1日あたり乗降客数約7,400人)は、北口のみ の地平駅でバリアフリー設備が無い状況であった。</p> <p>また、踏切交通実態総点検で緊急対策踏切に指定されている二軒屋踏切は、歩車分離がされておらず、鉄道駅及び周辺の歩行者安全対策が急務となっている。</p> <p>そこで、南北駅前広場と併せた新所原駅南北連絡線の整備により、交通結節機能の強化に加え、踏切を経由しない南北往来も実現でき、駅周辺経路のアクセス性・移動円滑化の向上、通学路等の生活空間における安全・安心の確保を図る。</p>
事業規模	<p>○事業延長:90.0m</p> <p>○事業費:25億円</p> <p>○幅員:4.0m</p> <p>○事業期間:平成24~30年</p>
事業の目的	<p>新所原駅周辺は、東西に横断する東海道本線の南北に市街地が広がり、区画整理事業や宅地開発などの住宅環境整備による宅地化や進んでいることや、大規模事業所が多数立地していることから、通勤・通学による利用者も多く、市内にあるJR東海道本線3駅の中で最も乗降客数が多い。</p> <p>このため、ユニバーサルデザインを採用した設計で新所原駅周辺を整備することで、交通結節点の機能強化と利便性の向上を図ることを目的とした。</p>
事業効果 (効果一覧を参考に 具体的な効果を記入)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全の確保…新所原駅付近の踏切横断歩行者の減少(p9) 交通サービス水準の向上…企業バス・タクシーの待機台数増加 駅利用者の満足度向上…駅周辺整備により駅の利便性が向上し、利用者の満足度が向上した(p8)
地元対応等 (地域住民との協働等 合意形成等を図ったか 地域に配慮した点)	<p>新所原駅周辺整備事業では、駅周辺で生活する住民が主体となって、平成15年度よりまちづくり研究会として活動を開始した。研究会の活動としては、まちづくりのコンセプトやデザインの決定から駅の整備計画、駅前広場の整備計画の検討、交通・まちづくりに関するアンケート調査など多岐に渡った。</p> <p>また、この事業は湖西市の新たな取組みとして、ふるさと納税制度をPRし、その寄附金を整備に活用することにより、新しくなる施設として市民の皆様に還元していく整備手法を採用している。1万円以上の寄付をいただいた方には自由通路内の壁面に芳名板を設置し、お名前を掲載した。地域内外から「新所原地区を盛り上げたい」という思いが募り、募集終了までに1億9千万もの寄附をいただき、まちづくりの大きな力となっている。</p>

新所原駅周辺まちづくり事業 位置図



(都) 新所原駅高山線
北口駅前広場 $A=3,900\text{m}^2$

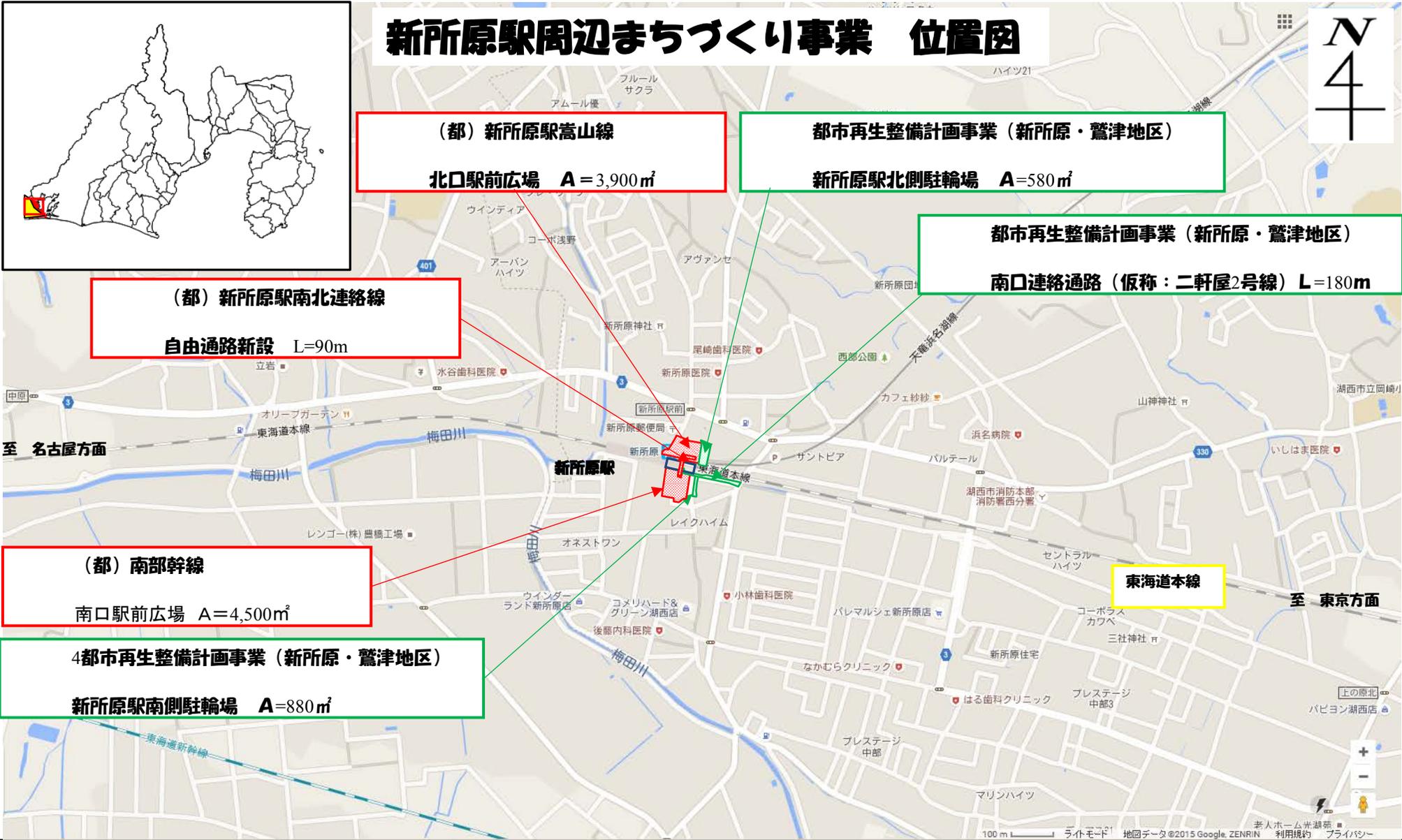
都市再生整備計画事業 (新所原・鷺津地区)
新所原駅北側駐輪場 $A=580\text{m}^2$

都市再生整備計画事業 (新所原・鷺津地区)
南口連絡通路 (仮称：二軒屋2号線) $L=180\text{m}$

(都) 新所原駅南北連絡線
自由通路新設 $L=90\text{m}$

(都) 南部幹線
南口駅前広場 $A=4,500\text{m}^2$

4都市再生整備計画事業 (新所原・鷺津地区)
新所原駅南側駐輪場 $A=880\text{m}^2$

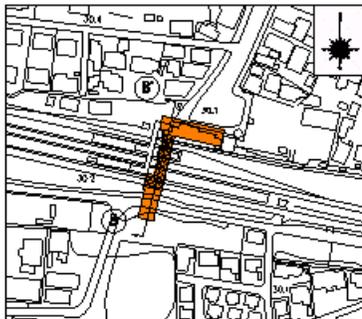
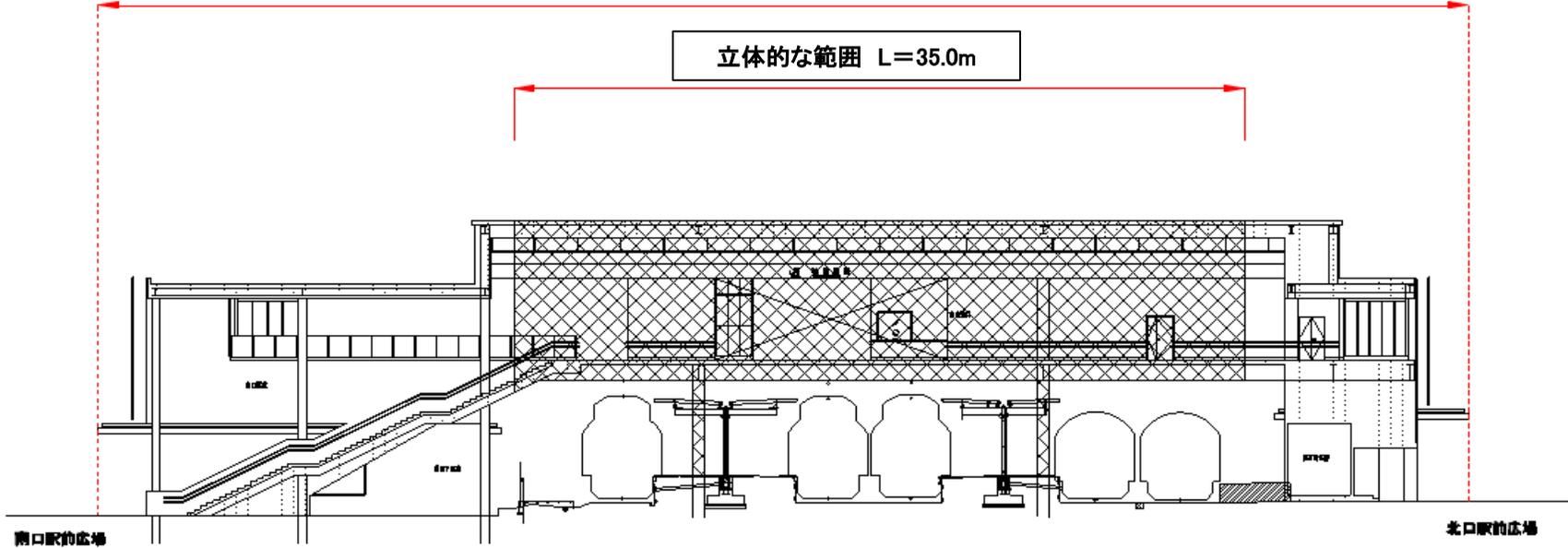


断面図

縦断面図(B-B') S=1:100

湖西市都市計画道路
8・7・1号 新所原駅南北連絡線
L=90.0m, W=4.0m

立体的な範囲 L=35.0m



凡例

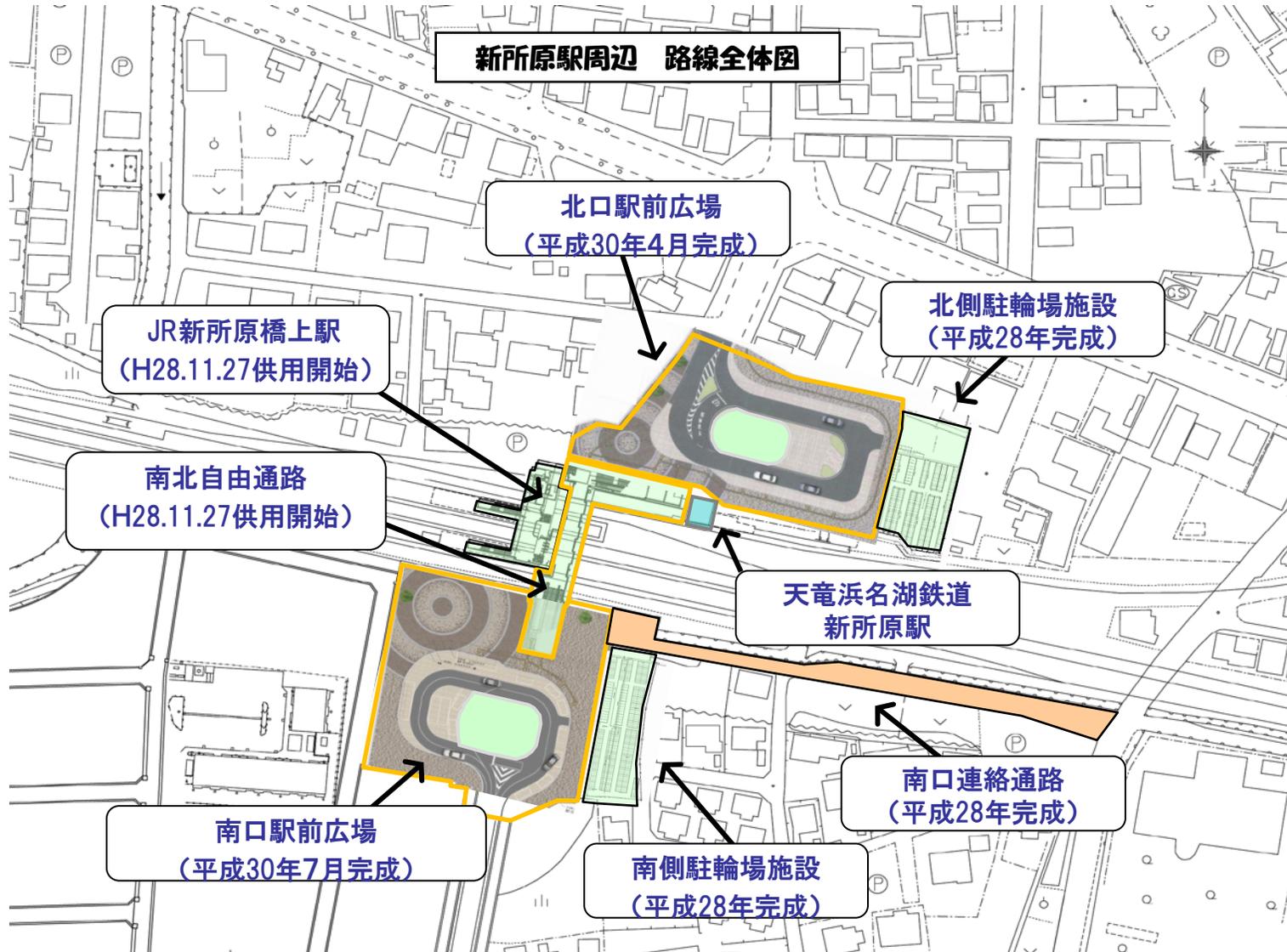


立体的な範囲

工事名	平成 25年度 新所原駅周辺整備事業 新所原駅南北連絡線新設工事
経費名	(計) 新所原駅南北連絡線
構内箇所名	湖西市 新所原 地内
図面の種類	縦断面図(新所原駅南北連絡線)
縮尺	1:100
図面番号	全 7 葉の内 5

◆施設概要

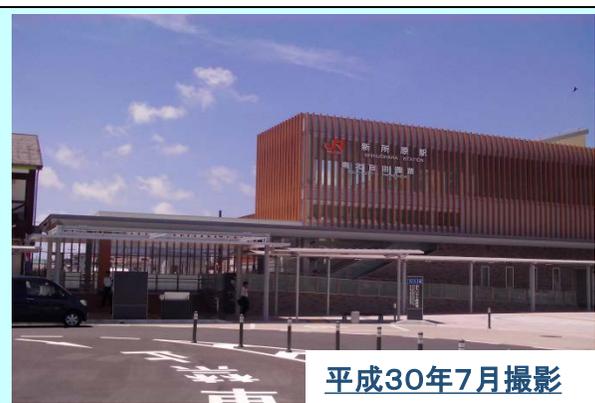
路線全体の進捗状況



事業前写真



事業後写真



南北連絡線の事業効果アピール資料

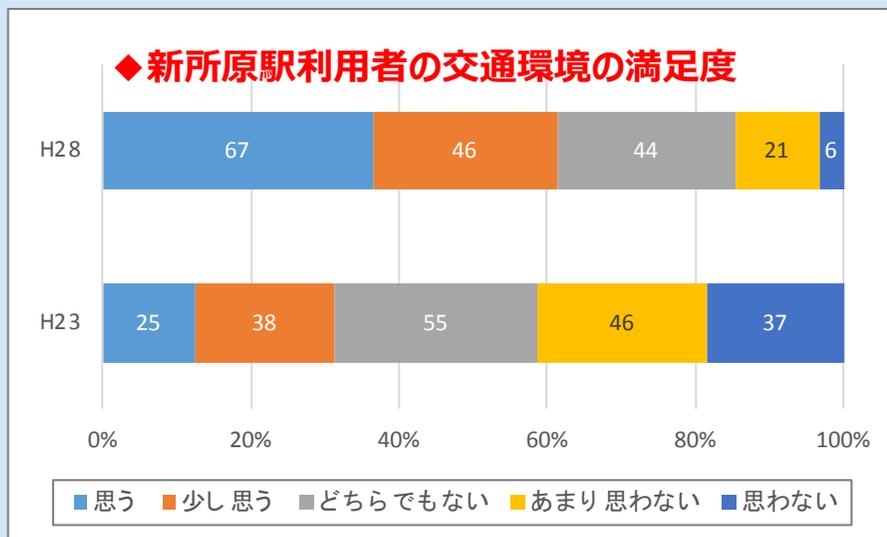
○新所原・鷺津地区都市再生整備計画事業の事後評価について

供用前 31.3%(H23)

供用後 61.0%(H28)

新所原駅利用者の交通環境の満足度

新所原駅南北連絡線や新所原駅周辺の街灯設置、南北駐輪場の整備を行ったことにより、駅の利便性が向上し、利用者の満足度が得られた。



データの計測手法と評価値の求め方

新所原駅の利用者アンケート調査から、新所原駅周辺地区の駅前広場や駐輪場、道路が「満足できる交通環境になっているか」に思うと回答した割合。

南北連絡線の事業効果アピール資料

JR新所原駅周辺の交通量調査結果

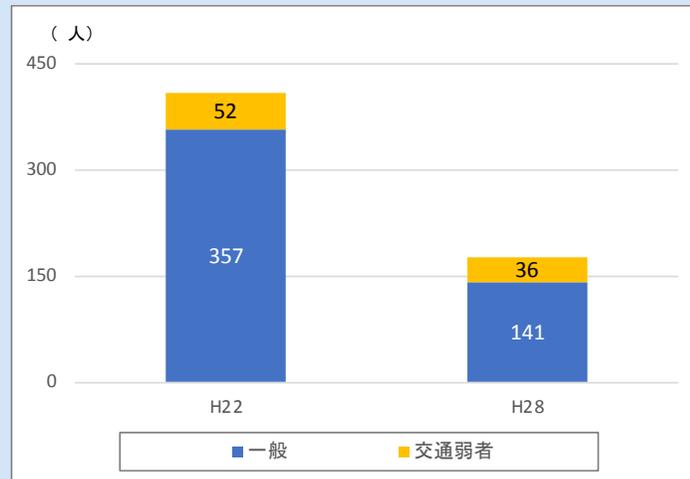
供用前 409人(H22)

供用後 177人(H28)

JR新所原駅周辺の踏切横断人数

JR新所原駅南北連絡線の整備により、踏切を横断する歩行者の減少に繋がった。

※交通弱者 = 65歳以上の高齢者及び身障者（目視判断）



データの計測手法と評価値の求め方

JR新所原駅周辺の交通量調査において、新所原駅の東側に隣接する二軒屋踏切を横断する歩行者の数

